



友の会の定期総会が開催されました！！

平成 26 年 5 月 11 日(日)松浦武四郎記念館会議室において、平成 26 年度松浦武四郎記念館友の会の定期総会が会員 36 名出席のもと開催されました。

先ず、飯田会長の挨拶の後、来賓として三雲地域振興局の鈴木局長から挨拶を頂戴しました。

高瀬役員の司会で議事次第にもとづき進行され、平成 25 年度活動報告を佐波副会長、会計報告を中島会計、監査報告を稲垣監事、平成 26 年度事業計画と予算計画及び歌碑の建立について説明がありました。又、役員候補の説明があり、全員承認されました。(会長：飯田秀、副会長：佐波早苗、会計：中島昭光、監事：斎藤和子・稲垣良利、幹事：中村益郎・唐津巳喜夫・柴澤十・高瀬淑子・田中愼)

最後に質疑・応答があり全てについて承認されました。



来賓挨拶される鈴木局長



挨拶する飯田会長



司会の高瀬淑子さん

平成 25 年度に実施された主な事業

- ☆ 研修バス旅行(奈良県桜井市の與喜天満宮)を読む会との共催で実施 ☆友の会主催の特別講座実施(5 回)
- ☆ 大黒屋光太夫顕彰会との交流会実施 ☆誕生地保存会の研修会に参加(射和地区)
- ☆ 市政バスによる松阪市内(学校給食センター・多気浄水場・松阪競輪場・歴史民俗資料館)見学
- ☆ 友の会の活動展示(三雲地域振興局ほっとギャラリー、松阪市市民活動センター)
- ☆ エゾヤマザクラ関係(サクラ苗木管理・新聞社に情報提供～記事掲載) ☆ 会員懇談会の実施
- ☆ いつきのみや梅まつりに参加 ☆川俣いも祭り・茶王大谷嘉平衛翁まつりに参加
- ☆ 松阪偉人顕彰団体協議会に参画 ☆武四郎まつりに協力 ☆友の会だより年 4 回発行

平成 26 年度事業の方向性

- ☆ 毎月第 2 日曜日に開催される記念館の「武四郎講座」に参加 ☆「友の会」自主事業の実施
- ☆ 友の会誌の発行・・・年 4 回(4 月・7 月・10 月・1 月)
- ☆ 松浦武四郎記念館が主催する行事に支援・協力

主な自主事業は次の通りです。

- 神鏡を訪ねるバス研修旅行 ○松阪偉人顕彰団体協議会への参画と氏郷まつりへの参加
- 市政バスを利用した研修ツアー ○武四郎の歌碑建立 ○友の会主催の特別講座(3 回実施)
- 地元小学校へ出前講座 ○旧松阪の小学校へ武四郎の紙芝居を紹介
- いつきのみや梅まつりに参加 ○活動展示(三雲ほっとギャラリー) 等々

研修バス旅行報告

恒例となった「武四郎が天満宮に奉納した神鏡を訪ねる旅」を5月19日に『武四郎を読む会』と『友の会』共催により、43名の参加で実施しました。

五回目の今年は、大阪市北区の大阪天満宮、大阪歴史博物館、NHKホールを訪ねました。大阪天満宮では全員で正式参拝の後、武四郎が奉納した2つの神鏡(直径約1mと30cm)を拝見しました。小神鏡は社務所で拝見し思い思いに重さを確かめました。大神鏡は倉庫に保管されており暗くて写真に写りませんでした。又、火災に遭ったとのことで上部が熱で変形していましたが、大きさや裏面の記載内容は確認できました。

その後、大阪歴史博物館内のレストランで昼食を頂いた後、館内見学、更にNHKホールでは、局内を見学・説明を受け、アナウンサー体験など、有意義な研修旅行となりました。

参加された辻さんに感想文をいただきました。



重さを確かめる参加者



大阪歴史博物館で説明を受ける参加者



小神鏡

松浦武四郎友の会研修バス旅行に参加して 辻 美智子(会員)

良き天候に恵まれた5月19日、待望の大阪天満宮がメインのバス旅行が挙行されました。私は初めてバス旅行に参加させて頂きました。武四郎さん奉納の神鏡をぜひ見たいと言う気持ちはとても強いものでした。それに天神様・菅原道真に共感するものもありました。

初めに天満宮社務所で小神鏡を拝見し、我が手に触れさせて戴いた時は、こんな貴重なものに触れてもよいのかしら?もったいないなー、でもそれに勝る嬉しさと色々な感情が一時に交錯しました。

次はいよいよ大神鏡です。収蔵庫の三階です。「大変ですよ」と言うお言葉でしたが、全員いそいそと昇っていく様子が微笑ましく、とても皆様の年齢ではとは思えない若々しい足取りでした。

ご神鏡の大きさもさる事ながら、やはり鏡のもつ魔性に打たれた様な感覚におそわれ、一人だったら、おそらく怖かったと思います。それと又、その鏡台の見事な事にも驚きました。私は一番後からの到着で、説明が聞けなかったのですが、この台は当時としてはとても貴重な紫檀の木彫品でした。

境内で私の背後で話声がありました。(佐藤貞夫先生でしょう)その内容は、この神鏡奉納の際は、台車を引く男衆は揃いの白装束で餅まきまでなされたとのことでした。それはそれはどんなに物々しく賑々しくさしもの浪花っ子も度肝を抜かれたであろう様子が目に浮かぶようです。武四郎さんの太っ腹を再認識した大阪天満宮でした。

次は大阪歴史博物館。館内のレストランでとても美味しいお昼食でした。この博物館は難波の宮跡の上に建築されており、地下には遺構の展示があり、ガラス越しに鑑賞ができます。遺構の貴重もさる事ながら、これなら何人にも侵害されることなく、かつ天災からも護り保管できる。何とよく考えられているかと得心しました。

最後は隣接のNHK大阪放送局です。ここは放送局ならではの種々の工夫・仕掛けを教えて頂く中で、図らずも私は「なりきりスタジオ」でニュースキャスター体験をさせて頂きました。机上の原稿を上からのカメラで前面の画面に写し、又その後ろのカメラがキャスターを写す。というまるで仕掛けでした。中々うまく読めないというのもよく解りました。とても有意義この上ない上上吉の一日でした。

それにつけてもバス車内での色々な説明の方は勿論、武四郎友の会の皆様のレベルの高さは正に感服の一語に尽きます。

中野館長様、山本命先生、飯田秀会長様を始め、この様な素晴らしい方々とのお出会いに改めて感謝申し上げます。

松阪偉人顕彰団体協議会の総会開催

4月12日に松阪市産業振興センター3階において総会が開催されました。

高島会長の挨拶、山中光茂松阪市長の来賓祝辞に始まり、平成25年度事業報告・決算報告、平成26年度事業計画・予算計画の説明があり、いずれも賛成多数で承認されました。

後半は、松阪商人を語る会代表の大喜多甫文さんにより「三井家の女性たち」と題して講演がありました。三井高利の両親や兄弟姉妹の関係が良く判り、大変興味深く聴くことが出来ました。



挨拶する高島会長



来賓の山中市長



大喜多甫文さん

紙芝居を使った出前講座実施しました！！

6月3日に役員4名が訪れて、阿坂小学校の5・6年生24名を対象に武四郎が若い時に全国各地を旅したことや北海道（当時は蝦夷地）をくまなく歩き、アイヌの方と交流し協力を得て内陸までの詳細な地図を完成させたことを紙芝居で紹介しました。

当時北海道南部を治めていた松前藩が、アイヌの方々に不当に労役させていたことを武四郎が記録していることなどを知った子供たちは驚いていました。この様子は「アイウェーブまつさか」で放映されると共に、中日新聞・毎日新聞・夕刊三重でも紹介されました。



紙芝居で紹介する高瀬淑子さん

誕生地で花見の会が催されました！！

4月5日に武四郎の誕生地及び隣の家の庭をお借りして、金田一京助博士が植えられた桜の花見会が保存会（会長：浜田栄一郎）主催で開催されました。

お忙しい中を山中光茂市長も駆けつけて挨拶され、2018年には武四郎生誕200年を迎えることと、地元や関係する方々や保存会に対する期待を述べられました。前日迄は雨の心配もありましたが、当日は絶好の日和になり桜も満開となり、地元小学生による



地元小学生によるお琴の演奏

の演奏、地元の合唱団（クレッシェンドみくも）による春の歌の合唱、団子や綿菓子、お菓子など舞いもあり、近所の家族連れぎわいました。



山中光茂市長



『クレッシェンドみくも』による合唱



満開の桜の元で、多くの方が来られました。

今年もエゾヤマザクラが沢山咲きました！！

記念館の北側の広場に9本、小野江小学校のプール横に3本を植えたエゾヤマザクラ(北海道新聞社から贈られたもの)が全ての木に見事に花が付き、2本の木は満開となり、今年は4月中旬に見頃を迎え、山中市長も見に来られました。又、中日新聞(4月17日付)でも紹介されました。



見事な桜に見とれる柴澤さん

友の会主催の武四郎講座開催(26年4月13日)

4月の武四郎講座は「松浦武四郎 ー今、北海道でー」と題して、高瀬英雄名誉館長にお話して頂きました。

江戸末期から明治にかけての武四郎の動きや志士たちとの関わり及び、現在の北海道における武四郎に関する動きを聞かせて頂きました。

今年は、記念館設立20周年にもあたり館長としての経験や2018年には武四郎生誕200年を迎えることへの期待など、ますます、興味が沸き立つ講座でした。



高瀬英雄名誉館長

第八十九回武四郎講座 松浦武四郎記念館友の会主催
演題「松浦武四郎 ー今、北海道でー」
講師 高瀬英雄氏
(松浦武四郎記念館名誉館長)

【松浦武四郎記念館よりのお知らせ】

武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

- 8月10日(日)10時～ テーマ：武四郎と川喜田石水 講師：山本 命学芸員
- 9月14日(日)10時～ テーマ：旅する武四郎 講師：佐藤貞夫先生 ※友の会主催
- 10月12日(日)10時～ テーマ：特別展関連講演会 講師：内川隆志氏(國學院大學)

展示のご案内

- ◆テーマ：松浦武四郎の絵本原画展 7月21日(月)まで
絵本作家関屋敏隆さんの新作絵本『北加伊道』の原画を展示します。
- ◆テーマ：松浦武四郎記念館・小野江コミュニティセンターの歩み これののみの鑑賞は無料です
7月29日～平成27年2月22日(日)まで
- ◆テーマ：武四郎と和歌 8月3日(日)まで
松浦武四郎はその生涯で多くの和歌を詠みました。武四郎が詠んだ和歌に関する資料を展示し、歌人としても活躍した武四郎の姿を紹介します。
- ◆テーマ：武四郎とアイヌ民族 8月5日(火)～10月5日(日)まで
松浦武四郎は幕末に6度にわたって蝦夷地の調査を行いました。
調査を通じて出会ったアイヌ民族との交流の様子を、調査記録や地図などから紹介します。
- ◆テーマ：開館20周年記念特別展 武四郎と涅槃図大集合 10月7日(火)～12月7日(日)まで
近年注目を浴びている「武四郎涅槃図」を中心に、涅槃図に描かれた様々なモノたちを展示することで、奇妙奇天烈、摩訶不思議な武四郎涅槃図の世界を紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

20周年記念事業の詳細は、紙面の関係で次号に掲載します。

7月6日(日)10時から開館20周年記念事業として小野江小学校体育館において記念館の歩みをスライド方式で展示、北海道大学の佐々木利和客員教授による特別講演などが行われ多くの方に参加して頂きました。

引き続き、友の会が建立した「武四郎の詠んだ和歌を刻んだ碑」の除幕式を山中市長始め多くの関係者にお越しいただき行いました。

武四郎の歌碑は、三重県では初めてです。記念館入口の右に設置してあり

ますので、皆様是非ご覧ください。尚、建立に際しては「原田積善会」から助成金を頂きました。

